

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 ランランランド		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用時一人ひとりのありのままを受け入れ、尊厳と自立を大切にされた支援を行っている。	・利用時一人ひとりの状態や特性に応じた個別対応を重視している ・医療的ケアが必要な児童にも安心して利用して頂けるよう看護師配置や送迎体制を整備している ・医療的ケアが必要な児童にも安心して利用いただけるよう、看護師配置や送迎体制を整備している	・職員研修や勉強会を定期的実施し、専門性のさらなる向上を図っています。 ・多職種間の情報共有をより密にし、より室の高いチーム支援を強化する
2	・看護師、保育士、理学療法士が在籍し、多職種連携による専門的な支援が提供出来ている。 ・マットレス導入により個々の身体状況に合わせた環境調整が出来ている	・利用時一人ひとりの状態や特性に応じた個別対応を重視している ・理学療法士によりリハビリを取り入れ、日常生活動作の維持・向上を支援している ・「思いやり」と「感謝」を大切にされた関わりを職員間で共有し、支援の質の向上に努めている	・家族との連携を深め家庭での様子も踏まえた一貫した支援体制を構築していきます
3	・看護師瞳孔を基本とした送迎体制や屋根付き環境による同行を基本とした送迎体制や屋根付き環境による安全・安心な送迎が可能である	・片道30分圏内の送迎対応により利用しやすい体制が整っている点 ・雨天時でも安全に移動できる環境づくりを行い、保護者・利用児の負担軽減に努めている	・地域とのつながりをを上げ、社会参加や交流の機会を増やす取り組みを進めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・看護師などの専門職への依存度が高く、人員配置により受け入れに制限が生じる場合がある	・多職種連携における情報共有ルールの統一が不十分が見られる	・人材確保および職員育成の強化による体制の安定化を図る ・情報共有ツールの活用や会議の定例化による連携強化をする
2	・送迎範囲が片道30分圏内に限定されており、広域二丁目への対応が難しい	・安全性を優先した体制運用により柔軟な対応が難しい	・安全性を確保した上での送迎体制の効率化と見直しの徹底をする
3	・送迎範囲が限定されており、利用希望者全てに対応が出来ない場合がある	・安全確保を優先とした体制運用となっている為	・送迎体制の仕組み化と会議の定例化を考える